

気仙沼湾水質分析結果概要

○調査日時 令和7年9月8日

○概要

- 1) 水温：表層で25.1~25.9℃、底層で22.5~24.3℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で27.2~31.9、底層で33.3~33.8の範囲にあった。
- 3) pH：7.95~8.35の範囲にあり、全点で水産用水基準（7.8~8.4）を満たしていた。
- 4) DO：4.6~12.3 mg/Lの範囲にあり、一部で水産用水基準（6.0 mg/L以上）を下回ったものの内湾漁場の夏季の水産用水基準（4.3 mg/L以上）は満たしていた。
- 5) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

リン酸態リン (PO₄-P) : 0.5 ~ 2.6 μg/L

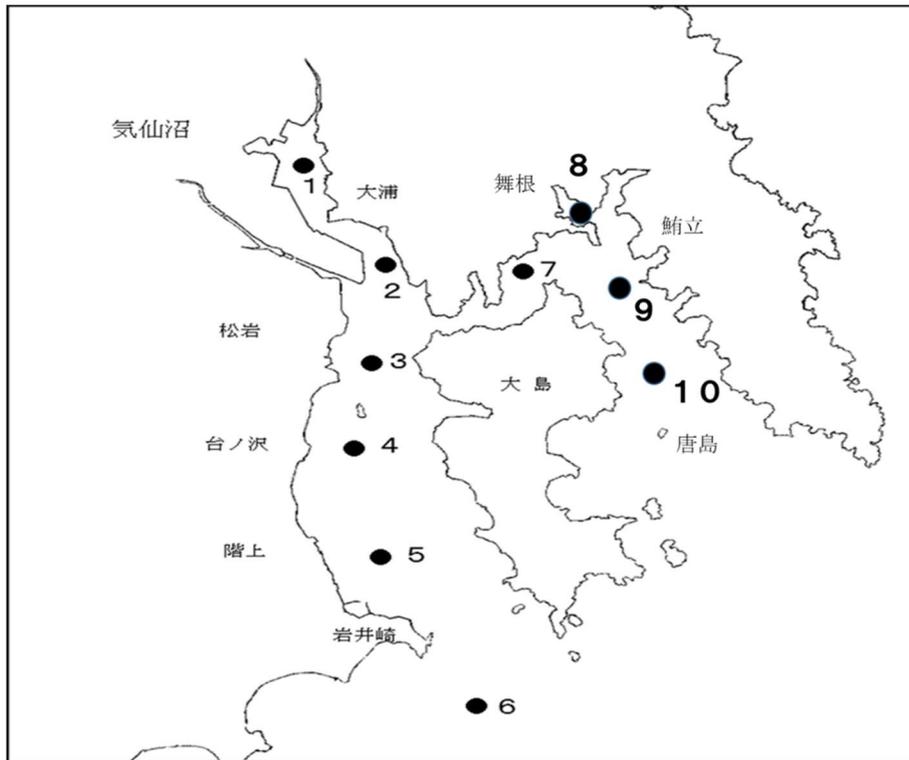
アンモニア態窒素 (NH₄-N) : 1.2 ~ 8.3 μg/L

亜硝酸態窒素 (NO₂-N) : 0.1 ~ 1.0 μg/L

硝酸態窒素 (NO₃-N) : 0.1 未満 ~ 7.3 μg/L

(三態窒素※ 2.0 ~ 10.1 μg/L)

※三態窒素とはアンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の合計です。



調査点図

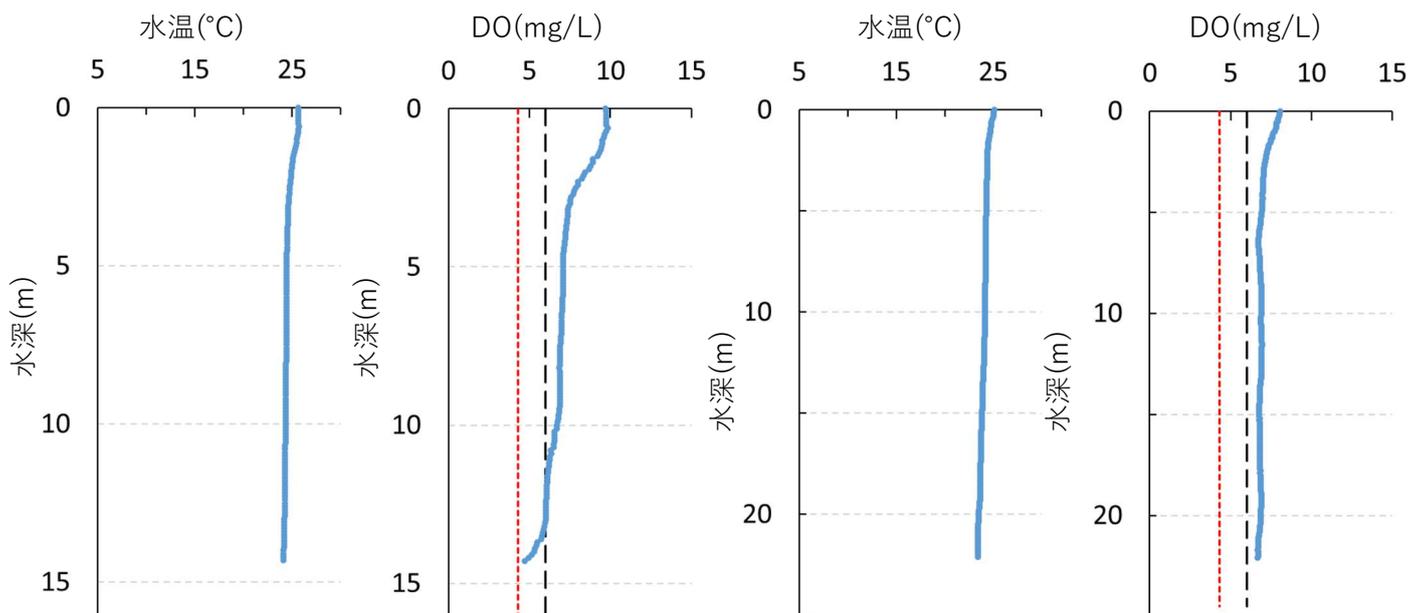
○気仙沼湾各地点での水温・溶存酸素(DO)の鉛直分布

▷多くの観測地点で表層から底層にかけて水温は24~25°Cでした。

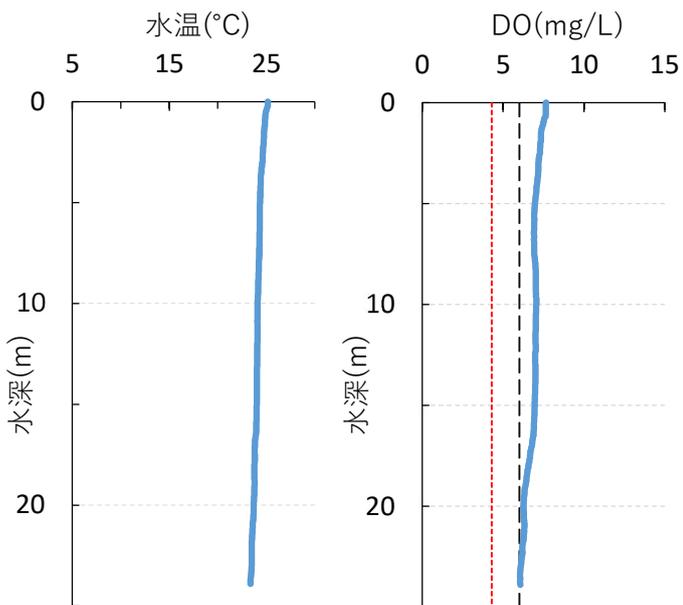
▷S t.3およびS t. 10の海底付近で、溶存酸素が水産用水基準(6.0 mg/L 以上)を下回りましたが、全地点で内湾漁場の夏季の水産用水基準(4.3mg/L 以上)は満たしていました。

S t.3 松岩

S t.6 岩井崎



S t.10 唐島



--- : 水産用水基準 (6.0mg/L)
 : 内湾漁場の夏季低層の基準 (4.3mg/L)